

北海道身体障害者新聞

発行人
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
会長 田中 利和
札幌市中央区北2条西7丁目(かでる2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
隔月 25日発行
会員購読料(年) 90円
(会費を含む)
非会員 同 2,000円

令和8年度 定時総会

令和8年6月11日(木)、道民活動センタービルにおいて、北身協の定時総会を開催しました。



全道各地から多くの方々にお集まりいただきました。

冒頭に、大橋俊彦副会長から「令和7年度は概ね計画どおりに事業が実施できました。今後とも会員の皆様や関係機関の皆様と連携・協力し、協会の維持・発展に努めていきます。」等の挨拶がありました。

続いて、ご来賓の北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課坂田英行課長から、総会開催にあたってご祝辞をいただきました。



さかた ひでゆき
坂田英行課長からのご祝辞

その後、議長として、室蘭身体障害者福祉協会 政田一美会長が選任され、議事に入りました。

◆第1号議案 令和7年度事業報告
事務局から北身協実施事業等を中心に説明が行われました。



まさだ かずみ
室蘭身障協会の政田一美会長を議長に選任

◆第2号議案 令和7年度決算報告
事務局から経常収益、経常費用の主な科目の増減の要因、公益目的支出計画の状況などについて説明が行われました。

◆監査報告
西田悦朗代表監事から令和7年度事業報告及び決算並びに理事の業務及び公益目的支出計画実施報告に関して、適正に執行されている旨の監査報告が行われました。

議長より、第1号議案・第2号議案及び監査報告について質疑を求め、特筆すべき質疑がなかった。第1号議案・第2号議案及び監査報告について諮ったところ賛成多数で承認されました。

◆第3号議案 令和8年度正会員の会費について
事務局から説明があり、質疑を求めたところ、特筆すべき質疑がなかった。賛成多数で承認されました。

◇報告事項

- (1) 令和8年度事業計画書
(定款第36条第1項、第2項による報告事項)
- (2) 令和8年度収支予算書
(定款第36条第1項、第2項による報告事項)

事務局から令和8年度事業について全体事業を説明し、事業計画については、当年度の主な事業概要についてを、収支予算では、道の補助や委託は前年ほぼ同額であることについて説明が行われました。

議長より、報告事項については賛否を問うものではなく、特に採決を求めないものとする旨の宣言がありました。

◇寄付いただきました。

「障害者の福祉の向上に寄与する」という本協会の趣旨にご賛同いただき、ありがとうございました。

まさだ かずみ
政田 一美様 室蘭市
(令和8年6月)

盲ろう者通訳・介助員 現任研修

5月9日(土)・10日(日)と、
6月27日(土)・28日(日)に、現
任研修を開催しました。

この研修は、「盲ろう者通訳・
介助員養成講座」を修了し、通
訳・介助員として登録している方
を対象に行っています。

毎年受講希望者が多い研修では
ありますが、今年は過去最高の受
講申込人数となりました。

1日目は、移動介助演習という
ことで、スロープ・エスカレー
ター・エレベーター・階段での介
助について学びました。



エレベーターを使います。

エスカレーターの昇降



傾斜のあるスロープ



平地ではない場所や、動きのあ
るものを使つての演習です。

実際の現場ではよくある場面で
あり、受講生からのリクエストが
最も多いカリキュラム内容です。



階段を通ります。

後半は、実際に派遣依頼を受け
て通訳・介助員として活動したこ
とについて何人かに発表してもら
い、その事例について共有し、検
討しました。様々な派遣内容があ
る中で、養成講座で学んだことを
生かしながら、想定外の場面にも
対応していくことで、実体験で多
くのことを学んでいることを実感
できた時間になりました。

2日目は、会議やイベントなど
複数の盲ろう者が集まる場面を想
定しての情報提供・状況説明につ
いて学びました。



グループごとに、様々なゲームで競います。

見えていて聞こえている人には、
視覚や聴覚からあたりまえのよう
に入ってくる様々な情報ですが、
その情報や状況を盲ろう者に伝え
ることの難しさを感じることで
きました。



重さを図るゲームです。

「ゲーム交流会」をしました。



養成講座や現任研修で学んだこ
とは、通訳・介助員としての活動
だけではなく、日々の生活の中で
困っている方への声掛けやお手伝
いなど、一歩踏み出す勇氣にもな
ります。

触手話で、ゲームの説明や
会場の様子などを伝えます。



街中や近所で何かに困っている
方を見かけた時は、何か自分にで
きることはないか、心を寄り添っ
ていただけたらと願っています。

笑顔とともに58年の歴史の幕

最後の網走地区身体障害者
レクリエーション大会

網走地区身体障害者福祉協会主催による「令和8年度網走地区身体障害者レクリエーション大会」が5月30日(土)北見市総合福祉会館で開催されました。(主管…一般社団法人北見身体障害者福祉協会) 網走管内2市3町から約70名が参加し、ポッチャ競技やビンゴゲームを通して交流を深めました。今年度をもって協会が解散することから、本大会は長年続いてきた歴史の締めくくりとなる最後の大会となりました。



ポッチャ競技の様子

当日は障害者スポーツとして人気の高いポッチャ競技を実施しました。参加者の中には初めて競技に挑戦する方もいたことから順位は設けず、誰もが気軽に楽しめるレクリエーション形式で開催しました。日頃の練習の成果を発揮する方や、仲間と声を掛け合いながらプレーする姿が見られ、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

参加者からは笑顔があふれ、交流を深める貴重な機会となりました。競技終了後は昼食を囲みながら交流を深め、その後のビンゴゲーム大会では会場で歓声が響きました。景品が当たるたびに大きな拍手が送られ、久しぶりに再会した仲間との会話も弾み、参加者同士の親睦をさらに深めるひとときとなりました。

遠軽町から始まった大会の歴史、本大会の前身である「網走地区身体障害者スポーツ大会」は昭和43年度に遠軽町で開催されました。

その後、時代の変化や参加者のニーズに合わせて平成21年度から「レクリエーション大会」として形を変えながら継続され、多くの会員に親しまれてきました。新型コロナウイルス感染症の影響により3年間の中止を余儀なくされたものの、令和5年度から再開し、再び参加者同士が交流できる場として大切な役割を果たしてきました。

今年度をもって網走地区身体障害者福祉協会はその歴史に幕を下ろすこととなり、本大会が最後のレクリエーション大会となりました。当日配布した資料には、これまでの大会プログラムや開催記録を掲載し、参加者は懐かしい思い出を振り返りながら長年の歩みに思いを馳せていました。



58年にわたり受け継がれてきた交流の灯は、多くの参加者の心の中に今後も生き続けることでしょう。

日帰り研修 石狩市身体障害者福祉協会

6月17日(水)、令和8年度石狩市身体障害者福祉協会主催の日帰り研修を実施しました。

年1回の恒例行事を楽しみにしていた石狩市身体障害者福祉協会の会員20名が参加し、福祉バスで現地向けられました。

今年の研修先は、江別市にある北海道立埋蔵文化財センターでした。

小さい土偶の型を使って、ミニ土偶づくりに初挑戦しました。



北海道内で発掘された土器や土偶、石器などを見学したほか、ミニサイズの土偶づくりに初挑戦しました。作成に苦戦しながらも、充実した研修となりました。



楽しい思い出がたくさんできました。

第48回 美唄市福祉スポーツ大会

令和8年6月20日、美唄市にて

「第48回美唄市福祉スポーツ大会」が開催されました。前大会に引き続き屋内での開催となりました。

6月下旬の太陽の力に後押しされ外の気温が上がりましたが、総合体育館内の冷房機能の改修により新しいクーラーが導入され、ほどこよい気温を保てたため、快適な環境での競技ができました。

今年と昨年の大きな違いは大会の運営が美唄市から「美唄どんまいスポーツクラブ」に変わったことです。以前は市から依頼を受けて大会の実行委員となっていた会員は、今回から純粋に参加者として楽しむことが出来ました。10、20代の若いボランティアも多く、なんと最年少のボランティアさんは小学1年生でした。お手伝いに行き回る子供達を見て参加者も思わず笑顔になりました。



ナイスプレーが光ります。

競技は、ラダーゲッターやボッチャなどおなじみのスポーツや、わかりやすく親しみやすいオリジナル競技を中心に7種目を実施しました。

始める前は「わからないからできない。」と不安そうにしていた方も、いざ始めると前の方を真似して動き、うまくできたら後ろに並んでいる人と一緒にはいやいでいました。



みんな笑顔で、ハイ・ポーズ！

美唄身体障害者福祉協会からは7名が参加しました。各競技には2、3人ずつ参加して、楽しく体を動かした後は洗剤などの景品を受け取ることができました。

会員同士が顔を合わせ、体を動かして笑い合い、終わったら美味しいお弁当で一息つき、身体も心も健康になれた一日でした。



公益財団法人 北海道対がん協会
事務局長 加藤 元嗣
札幌市東区北26条東14丁目1-15
電話 011-748-5511
旭川がん検診センター
旭川市末広東2条6丁目6番10号
電話 0166-53-7111
釧路がん検診センター
釧路市愛国東2丁目3番1号
電話 0154-337-3370

安心と実績で全道をネットする
認定補聴器専門店-

岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド
札幌駅前店 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H-Sビル1F
新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノビル3F
手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目
元町店 札幌市東区北22条東16丁目1-10 メーブル元町1F
旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F
函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル
苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1
室蘭店 室蘭市中島町3丁目25-1 Tビル
お問い合わせ 0120-231-282
岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社
札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬

札幌市中央区北5条西11丁目六
電話代表 (011) 241-0986

有限会社
野坂義肢製作所

札幌市中央区南3条東4丁目
電話 (011) 221-1406

株式会社
馬場義肢製作所

函館市豊川町一五の二 0133-31155
札幌市北七条七丁目 011-741-033
室蘭市母恋北町一の三の六 0143-31529
釧路市富士見一の五の九 0154-41354

株式会社
田村義肢製作所

札幌市中央区北4条東5丁目
電話 (011) 201-2777
帯広市大通南15丁目20番地
電話 (0155) 271-289

社会福祉法人
北海道宏栄社
〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話 011-341-5511
FAX 011-341-5511

- ◆障害者支援施設
- ◆障害福祉サービス事業所
- ◆特別養護老人ホーム
- ◆障害児通所支援事業
- ◆救護施設 他

施設利用、見学等をご希望の方は
お気軽にご連絡下さい

社会福祉法人
北海道光生舎

☎079-1135
赤平市錦町2丁目6番地
TEL 0125-32-3221



ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北14条東14丁目215 光生ビル
TEL 011-748-6211
FAX 011-748-6211



NPO 法人
砂川つばさ
砂川市東五条南4丁目21-12
FAX 011-255-5211
電話 (011) 255-5211
支店 センター内
電話 (011) 255-5211
FAX (011) 255-5211

バッグの製作・修理等・革製品で
お困りの方はご相談ください

有限会社
岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘四丁目二二-一四六
電話代表 (011) 231-1550 番